

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの教師の手立て表

	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習課題を設定する</li> <li>・社会的事象等を知る</li> <li>・気付きや疑問を出し合う</li> <li>・課題意識を醸成する</li> <li>・学習課題を設定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決の見通しを持つ</li> <li>・予想や仮説を立てる</li> <li>・学習計画を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予想や仮説の検証に向けて調べる</li> <li>・様々な種類の資料を活用して調べる</li> <li>・他の生徒と情報を交換する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する</li> <li>・多面的・多角的に考察する</li> <li>・話し合う（討論等）</li> <li>●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する</li> <li>・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●考察したことや構想したことをまとめる</li> <li>・学習課題を振り返って結論をまとめる</li> <li>・結論について、他の生徒と話し合う</li> <li>・学習課題についてレポートなどにまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習を振り返って考察する</li> <li>・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る</li> <li>・学習成果を学校外の他者に伝える</li> <li>・新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする</li> </ul>
教師の手立ての例	<p>A① 既習事項や前時までのつながりを意識させて本時の学習課題を設定する</p> <p>A② 資料や写真を提示して問いを持たせ、単元を貫く学習課題を設定する</p> <p>A③ テレビのニュースや新聞等を利用して身近な例を挙げ、問い返しをしながら学習課題を設定する</p> <p>A④ 学習課題の解決に向けて、電子黒板やワークシート等を活用しながら見通しを持たせ、ゴールをイメージさせる</p> <p>A⑤ 学習課題について予想や仮説を立てさせ、ゴールをイメージさせる</p>	<p>B① 学習課題を確認し、個人で調べる場を設定する</p> <p>B② ペアやグループで協働して調べる場を設定する</p> <p>B③ 役割分担(司会、発表者等)を行い、話し合いの視点を与える</p> <p>B④ 個人で考える場を設定して、複数の資料を基に様々な側面、角度から考えさせる</p> <p>B⑤ グループで、それぞれの考えとその根拠をメモさせる</p> <p>B⑥ グループで、それぞれの考えとその根拠を交換し合う中で、自分の考えを深めさせる</p>	<p>C① 問い返しをしながら授業のまとめをする</p> <p>C② ワークシートに合わせた書き方やキーワードを示してまとめさせる</p> <p>C③ 自分の考えの根拠となる資料を示させノートやワークシートにまとめさせる</p> <p>C④ 学習課題を振り返らせる時間を設定し、学習内容を振り返らせる</p> <p>C⑤ 結論についてグループで話し合わせたことを基に、レポートなどにまとめさせる</p> <p>C⑥ 問い返しをしながら、学習したことを自分たちの生活とつなげて考えさせる</p> <p>C⑦ 自分の調べ方や学び方、結果を振り返る場を設定し、新聞記事や時事問題等を取り上げ、現代の社会問題につなげる</p>			

主な学習過程の例は、『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善必要な方策等について（答申）』の「課題解決的な学習」の学習過程のイメージを基にしています。

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの教師の手立て表